

海洋エネ先進のスコットランド3社 本県企業との連携模索



本県企業との連携の可能性について話すアダムス取締役
（左から3人目）
＝長崎市役所

海洋再生可能エネルギー分野の先進地である英国スコットランドの3企業の各取締役が19日、長崎市役所に田上富久市長を訪ね、本県企業との連携の可能性について言及した。

3社は、▽水中音波計測

実。カウンセリング後、10種類のトリートメントから髪の毛の悩みに合わせて数種類を混合し、オリジナルのトリートメントで髪質を改善させます。

髪を補修する栄養成分が豊富に含まれ、全国的に人気が高まっている「オッジイオット」のシャンプーも取り扱っています。営業時間は平日午前10時～午後6時（最終受け付け）、土日祝が午前9時～午後5時（同）。月曜定休。電話0

956・85・2006。

機器開発・販売のトライテック▽高精度3Dイメージングソナー開発・販売のコーダ・オクトパス▽海洋調査会社のパートナーラック。日本貿易振興機構（ジェトロ）の地域間交流支援（RIT）事業で来県した。各社ともアジアでの事業展開を視野に本県企業との連携を模索しており、22日までの滞在中、本県で同分野の振興に取り組むNPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会の会員企業5社と商談する。

田上市長を前に、コーダ社のリチャード・アダムス取締役は「長崎は海洋産業の基盤も整い、自然の資源にも恵まれている」と評価。取材に対し「長崎の企業とどう連携すれば、自分たちの技術を生かせるのか探っていきたい」と話した。

（宮本宗幸）